

大宜味

おおぎみ



広報 No.238

KOHO OGIMI 2015年1月1日



未年の子どもたち “未”来に向かって 一歩一歩進んでいく

日時：12月4日
撮影場所：塩屋小学校

平成27年 村長年頭あいさつ



新年あけましておめでとございます。村民の皆さま方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、村民の皆様のご支援を賜り、10月7日より大宜味村長に就任させて頂き、村長就任後ともより、村政各般にわたり村民の皆さまの引き続きの温かいご支援・ご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

昨年も、めまぐるしい変化と激動の一年でございました。

9月に行われました、村長・村議会議員選挙をはじめ、無投票となりました農業委員会委員選挙、そして11月に行われた県知事選挙では、新たな県知事が誕生し、さらに、12月に入り衆議院の解散に伴う総選挙が執行され、我々沖繩県民として「辺野古新基地建設」や、一消費者としての「消費増税」等々の是非が問われる大事な年となりました。

一方、村内では農業と観光がうまくマッチした「ひまわり畑が」県内で話題を呼び、9月には、「一心療護園」が安全・安心の確保と施設機能の拡充によるリニューアル移転がおこなわれました。

私の就任後となる11月には、大宜味村の宝である、大宜味村シークワサー消費拡大の取り組みとして、東京と福島にて大宜味村特産物のPRを勢力的に行い、同じく、11月11日には、道の駅大宜味15周年記念セレモニーが開催され、シークワサーをはじめとする地元農産物や地元特産品のPRによる道の駅を拠点とした、地域の活性化を広く発信することができました。

文化・スポーツ関連では、10月に、本村職員である「安里瞬さん」が、県民大会ハンマー投げで見事1位の快挙を成し遂げ、11月に「陶藝玉城」の玉城望さん・若子さんが、沖展奨励賞に次ぐ、「ちぶるシーサー」が経済産業大臣奨励賞を受賞、「平良啓子」氏が、長年の功績による平和・人権部門での沖繩県功労者表彰、喜如嘉芭蕉布保存会副会長「桃原秋子」氏が、長きに

渡る伝統文化の継承保存が称えられ、文化庁長官賞の栄誉に輝きました。

あらためまして、ご先輩方のご功績の重みを感じ、心より敬意を表しますと共にお祝い申し上げます。

また、ツーリズム関連では、観光庁表彰並びに環境省特別賞を受賞した、おおぎままるごとツーリズム協会に続き、理事長であります「宮城健隆」氏が農林水産省によるオーライ！ニッポン ライフスタイル賞を受賞し、今後更なる本村のツーリズム産業の推進が期待されます。

また、子どもたちの活躍も華々しく、塩屋小学校が「環境省自然環境局長賞」を、喜如嘉小学校が「第21回コカ・コーラ環境教育賞」にて優秀賞に輝き、辺土名高校「宮城怜奈」さんは、県高校新人大会において、女子重量挙げ（スナッチ・ジャーク）でいずれも大会新記録を樹立し優勝を勝ち取りました。

そして、12月には、現在整備を進めております、結の浜地区における大宜味村立小学校・中学校校舎建設工事安全祈願祭が執り行われ、平成28年度の開校へ向けた本格的なスタートとなりました。

迎えた年も引き続き、『大宜味村の特性を活かした村づくり』を基本理念に「結の浜地区の利活用と活性化」を中心とした、若い世代を含め多くの方が「大宜味村に住みたい」と思える村づくりを目指し、掲げた基本政策の実現と、これからの10年間の大宜味村の方向性を決める「第5次大宜味村総合計画の策定」を、村民の民権と共に取り組んでまいります。

厳しい行財政事情の中ではございますが、職員一同心一つにして本村の発展と村民の皆さまの幸せのため最大限の努力をしていく所存でございます。

本年も、どうぞよろしくお願致します。

結びに、村民の皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のあいさつと致します。

平成27年元旦

大宜味村長 宮城 功光

平成27年 議長年頭あいさつ



謹んで新年のご祝辞を申し上げます。
村民の皆様におかれましては、ご健勝にて新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素より村議会に対し深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は村長、議員選挙と県知事選挙、衆議院選挙と選挙の年でありましたが、本村においては、宮城功光村長が誕生し、また私ごとでもありますが、金城勇議長の後を受けて議長に推挙していただきました。名に恥じぬよう全力で取り組んでまいります。

近年の地方分権の進展により、住民の身近な市町村の役割は一層重要になっております。宮城村政においては、少子高齢化への対応、産業の振興、村の活性化など課題が山積しております。このようなさまざまな課題を抱える中、村議会とその議員が果たすべき役割及び責務の重要性は、ますます増大しております。議会の役割は、予算案などの議決のみでなく行政へのけん制や監視、政策を提案しながらも、村民の皆様の声を行政に反映させなければなりません。

昨年の第8回臨時会において、大宜味村立小学校・中学校校舎建築工事、それにとまなう電気・機械設備工事の請負契約案件について可決され、尚、第9回定例議会において屋内運動場建築工事の請負契約も可決されました。

村民の代表である村議会といたしましては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、村の主役は村民の皆さんであることを第一に、住んでよかつたと思える村づくりの実現に向けて、努力して参りたいと考えております。

村民の皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年になりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

平成27年元旦

大宜味村議会議長 平良 嗣男



大宜味村10大ニュース

2014



桃原秋子さん文化庁長官表彰

文化活動に優れた成果を示し、我が国の文化の振興に貢献された個人・団体に対し、その功績を讃え、文化庁長官による表彰式が12月5日、文部科学省(東京)で開催され、沖縄県からは喜如嘉の芭蕉布保存会副会長の桃原秋子さんが選ばれました。桃原さんは永年にわたり、染織製作技術者として芭蕉布の製作に携わるとともに、重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」の保存及び伝承者の養成に尽力し、国の文化財保護に多大な貢献をしたとして今回、選考されました。桃原さんは現在も糸芭蕉から糸を作り、織りまで全ての作業を自宅で行っており「自分の手で残せる物は形にしたいと思って芭蕉布を作っていた。まさか、こんな立派な賞が取れるとは思わなかったので驚いた」と話していました。



村政新体制誕生



9月7日、任期満了に伴う大宜味村長選挙は、宮城功光氏が初当選を果たしました。同月9日には、宮城村長と村議員選挙当選者の当選証書付与式が村役場二階会議室で行われ、その翌月10月7日付けをもって、大宜味村長に就任しました。

宮城功光村長は「大宜味村も少子高齢化に伴う過疎化や、離農者の急増による農地の荒廃、生活圏確保のための人口流出等々により、社会保障費は増大の一途をたどり、村行政運営は多くの課題を抱えている。これらの諸課題へ取り組まなければならない」と意気込みを語っています。



全天候型遊具とアスレチック遊具を複合「結の浜公園」オープン



字塩屋の埋め立て地「結の浜」に4月30日、結の浜公園がオープンしました。

遊具には強い日差しや、雨と風を防ぎ、屋根部分で子ども達が飛び跳ねたり、滑ることが出来るテント型の全天候型遊具と、全身を使って冒険心を刺激する「ロックブロック」や、ゆれるはしの上をバランスを取りながら渡る「ゆらゆら吊り橋」が取り付けられたアスレチック遊具があります。その他にも交流広場やバスケットコートも設置されており、本村初の本格的な公園の誕生となりました。休日には村内外から多くの方が利用し、子どもたちの賑やかな声が響いています。



地域資源を活かして受賞



村内で各種団体が表彰を受けていますが、中でも輝きを見せたのは、NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会による「第9回エコツーリズム大賞」での特別賞受賞でした。同協会は民泊を主体事業とし、地域の豊かな自然を壊すことなく、環境保全と緑豊かな自然を次世代に受け継ぐ持続可能な観光事業の構築、新たな産業と雇用の創出をめざし、行政と地域が協働連携しています。これまでの活動内容が認められ、その他にもタピカレ学園祭(主催:観光庁)で総合部門第3位や「第12回オーライ!ニッポン大賞」では理事長の宮城健隆さんが「オーライ!ニッポンライフスタイル賞」も受賞しています。



大宜味村立小学校・中学校工事着工



12月12日、結の浜で大宜味村立小学校・中学校建設工事起工式が行われ、平成28年4月開校に向けて工事が着工しました。校舎建築の基本方針として「安心、安全な施設づくり」、「健やかな身体の育成を図る施設づくり」、「確かな学力、子ども達の主体的な活動を支援する施設づくり」、「地域と学校の連携をより深め、地域に開かれた特色ある学校づくり」、「集団による学習の効果及び教育指導が充実した学校づくり」を目指しています。大宜味村の将来を担う子ども達のために、より良い教育環境の充実を図ると共に、地域住民が利用しやすい地域一体化施設も視野に入れた計画になっています。



ひまわりが海を守る



村内の農家と村地域耕作放棄地対策協議会が協力し、ダイコン畑などから土壌流出を防ぐため、ヒマワリによる赤土対策及び土壌改良を目的とした活動を実施しました。

8月25日から約2週間、江洲や田港などの畑では満開に咲き誇るひまわりが一面に広がりました。その中でも、津波の農地ではひまわりと海が同時に眺められる場所として、マスメディアにも取り上げられ、綺麗に咲いたひまわりを一目見ようと多くの観光客が訪れ、笑顔の花を咲かせました。



スポーツで躍進する選手達



11月22日、沖縄市陸上競技場で行われた「第66回沖縄県民体育大会」陸上競技一般男子ハンマー投げにて国頭郡代表として出場した安里瞬選手が51m56cmを投げ優勝しました。村から県民体育大会陸上競技フィールドの部で優勝が出たのは、初めてのこととなり、安里選手は国頭郡大会でも33年ぶりの大会新記録更新も成し遂げています。(写真左)

また、11月1日に行われた「平成26年度県高校新人大会」ウェイトリフティング競技女子48キログラムに出場した宮城怜奈選手(辺土名高校)はトータル129キログラム(スナッチ60キログラム、ジャーク69キログラム)を挙げ、いずれも大会新記録を樹立し、優勝しました。宮城選手は平成27年1月16日～18日に熊本県で行われる「第23回全九州高校選抜大会」に県代表として出場します。(写真右)



一心療護園移転により総合福祉施設誕生



6月13日に建築工事が竣工を迎え、7月1日に大宜味村長や東村副村長・法人役員など関係者の皆様をお招きして、施設開所式典を執り行い、新たな施設のオープンを共にお祝いしました。一心療護園の移転により、法人の主要な事業所が高台の場所に集約される事によって、地震などの災害時に地域で生活されている障害者や独居の高齢者の皆様が一時的避難的に使用できる場所としての役割を担う事も期待されております。



「塩屋湾のウングミ」16年ぶり新神人(カミンチュ)誕生



塩屋湾内7区の最大の行事であり、国の重要無形民俗文化財にも指定されている「塩屋湾のウングミ(海神祭)」が旧盆明けの初亥の日にあたる8月20日、同湾と周辺地域で行われました。また、約500年の歴史がある「塩屋湾のウングミ」では、神事を司るカミンチュ(神人)に宮城有美さん(屋古区)が加わりました。これまで神人の年齢層は90代が3名、80代が1名、70代が2名、60代後半が1名と高齢化しており、新しく就任する方がなかなか現れなかったため、ウングミは継続の危機に立たされていました。ところが今回、1998年以来16年ぶりに神人となり、各集落のカミンチュは宮城さんを含めて8人となりました。今後のウングミ継続の危機的状況は楽観視できませんが、ひとまず回避されたと思われまます。

その他 主な出来事

- 「大宜味産和そば」商標登録(4月)
- 石山展望台前に県内最大規模の自然エネルギー風力発電実証研究設備竣工(5月)
- 平良啓子さん2014年度県功労者表彰(11月)
- 陶藝玉城の玉城望さん伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰(11月)
- 「キャンドルナイトinサーベイ」塩屋湾をキャンドルが取り囲む(7月)
- チャレンジデー2014で大宜味村の参加率31.6%で銅メダル(8月)



喜如嘉小学校と塩屋小学校、全国表彰



喜如嘉小学校は8月9日に北海道で行われた「第21回コカ・コーラ環境教育賞活動表彰部門」にて105団体の応募の中から10団体に選ばれ優秀賞を受賞しました。学校で取り組んでいる野鳥観察やノグチゲラ、リュウキュウオオコノハズクなどの保護活動が認められ、優秀賞をいただくことができました。

また、11月25日に東京で開催された「全国野生生物保護実績発表会」において、塩屋小学校の名嘉慶くん、座喜味小町さん、宮本琴乃さんが代表で発表した、過去2年間にわたる「屋古のチョウ観察」の研究事例が評価を受け、環境省自然環境局長賞を受賞しました。



やろーよ献血 ～ハートに近い贈り物～

村では、下記の日程で移動採血車による献血を実施いたします。今400ml献血が多く求められています。村民の皆様への献血へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

期 日

平成27年2月4日(水)
午前9時30分～午後5時

場 所

大宜味村役場第2会議室(旧法務局)

第41回おおぎみ展 の開催について

日 時

平成27年1月23日(金)～25日(日)
10:00～18:00
(23日は13:00～、25日は～17:00まで)

会 場

大宜味村農村環境改善センター

※当日会場では『誰かに見せたい』昔なつかしの運動会の写真』と題した企画写真展のほか、芸術講座も予定しております。

村内外からの多数のご来場お待ちしております!!

お問い合わせ先

大宜味村教育委員会
TEL 0980-44-3006

民間賃貸住宅相談

【対 象】

- 民間賃貸住宅のトラブルに関する相談
- 家主・借り主どちらからの相談も可

【弁護士による無料相談】

①電話相談

- フリーダイヤル(0120-003-703)にかけてもらすと、弁護士が直接対応
- 平成26年8月下旬から平成27年3月まで
- 毎週水曜日 午前10時～12時、午後2時～午後4時、午後5時～午後7時の3コマ
- 毎週金曜日 午前10時～12時、午後2時～午後4時の2コマ

②面談相談

- 弁護士会に予約電話(098-865-3737)
- 1コマ(30分)無料

※この相談は国土交通省の補助金の交付を受けて実施しています。

お問い合わせ先

ふくぎ法律事務所

TEL 098-858-2120 FAX 098-858-2125

福祉の職場説明・面接会(北部地区)

【期 日】

平成27年1月21日(水) 13:00 受付開始 ～15:00 受付終了
13:30 開 会 ～15:30 閉 会

【参加対象】

- ①福祉の仕事に就職を希望する方
- ②社会福祉施設・団体等

【内 容】

- ①求人面談コーナー：求人施設等から事業内容や求人の面接を行う。
- ②ハローワーク相談コーナー：職業相談及び求人情報の提供等
- ③総合相談コーナー：その他の総合相談(資格や求人情報の提供等)

【参加方法】

参加費は無料です。当日直接会場にお越し下さい。

お問い合わせ先

名護市社会福祉協議会 名護市福祉人材バンク
〒905-0014 名護市港2-1-1 名護市民会館内福祉センター

TEL 0980-53-4142 FAX 0980-53-6042

ネコの去勢・避妊手術代補助希望者の募集

NPO法人やんばる舎は、人とやんばるの希少な生物が共生できる環境づくりをめざし、地域でネコが増えすぎないように避妊去勢をすすめる「とり・ねこ基金」を設けました。その結果、県内外から多くの方々のご協力を得て232,672円の金額が集まりましたので、やんばる3村の住民を対象に計21匹分のネコの避妊去勢手術代補助のための募集を行います。(大宜味村は7匹分の補助を行います。)

1.補助について

避妊去勢手術にともなう費用の半額を補助致します。
(手術代+マイクロチップ代)

- ①手術費総額 メス:21,600円 オス:16,400円
- ②飼い主の自己負担額 メス:10,800円 オス:8,200円
- ③指定動物病院:kunjan動物病院(国頭村)

2.応募について

(1)応募対象

- ①大宜味村在住者が飼育しているネコ
(手術前に生後六カ月以上・健康であること)
- ②応募は一世帯につき一匹

(2)応募期間

平成27年1月19日(月)～平成27年1月23日(金)午後6時迄

(3)応募方法

下記にFAX・電子メールで応募ください。

- 1.応募事項：①名前②住所・連絡先電話番号③ネコの性別・年齢・名前
- 2.応募先：特定非営利活動法人やんばる舎 FAX:0980-44-2577
Email:info@ogimi-museum.org

(4)補助対象者の発表について

厳正な抽選のもと、1月5日までに電話ご連絡いたします。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人やんばる舎
TEL 0980-44-2577

村の人口 11月末現在

男 1,706人(- 2)
女 1,576人(- 3)
計 3,282人(- 5)

世帯数 1,680世帯(- 3)
出産 2人 転入 9人
死亡 6人 転出 10人

※注()内数は対前月比

満1歳お誕生日おめでとう!!!
(タンカー祝い)
世界にたったひとつだけのスマイル!!

輝く未来の大宜味っ子!

明るく・元気で・素直に
すくすく育ってね

宮城 莉杏奈ちゃん (塩屋) 【平成26年1月6日生】
松田 幸大くん (根路銘) 【平成26年1月11日生】
平良 颯くん (謝名城) 【平成26年1月16日生】

◎那覇市 株根路銘設計様 渡部 治様
◎大宜味村字津波 島袋 義久様
◎大宜味村字塩屋

大宜味村むらづくり応援へ

ご寄付

シークワサーの原液を頂きました!



夏休み期間中に給食センター職員で収穫したシークワサーを本村特産品加工施設(シークワサー)管理業者である株式会社ケレス沖縄さんのご厚意により無償で絞って頂き、11月20日にご提供頂きました。頂いたシークワサーの原液について、瑞慶山センター長は「絞って頂いたシークワサーは学校給食の材料として大切に活用させていただきます」と満面の笑みで答えてくれました。

1月 1 January February 月1日~2月10日

大宜味村カレンダー



1 木	元日
2 金	
3 土	
4 日	◆大宜味村成人式
5 月	◆官公庁仕事始め ◆区長会 ◆村民新春の集い
6 火	◆三学期始業式(幼・小・中) ◆消防出初め式
7 水	◆新春書き初め大会(塩屋小)
8 木	
9 金	◆新春マラソン&駅伝大会(喜保・塩保) ◆校内持久走大会(大宜味小)
10 土	
11 日	
12 月	成人の日
13 火	
14 水	
15 木	◆書き初め展示会(塩屋小)
16 金	
17 土	◆第24回大宜味村産業まつり~18日
18 日	
19 月	
20 火	
21 水	◆体験の翼事前学習会

22 木	
23 金	◆おおぎみ展(改善センター)~25日
24 土	◆沖縄一周市郡対抗駅伝大会~25日
25 日	◆第29回大宜味村駅伝競走大会
26 月	
27 火	
28 水	◆体験の翼事前学習会
29 木	
30 金	
31 土	
2月 February	
1 日	◆村学推実践報告会(各学校開催) ◆大宜味村教育の日 ◆幼・小・中一斉授業参観日③(午前)
2 月	◆区長会 振替休日(幼・小・中)
3 火	◆体験の翼事前学習会
4 水	
5 木	◆村内小6体験授業・大中入学説明会
6 金	◆体験の翼西会津町訪問~9日
7 土	◆第34回ぶながや生活発表会(喜保)
8 日	
9 月	
10 火	◆大宜味中修学旅行(中2)~13日

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

村内あれこれ



車椅子寄贈



12月3日、村役場村長室にて大同火災海上保険株式会社から北部支社長の新城匡博さんと同支社長代理の上地安治さんによって大宜味村へ車椅子の寄贈がありました。大宜味村への寄贈は本年度で4回目(延べ4台目)となります。車椅子の寄贈は、「救急診療所の車イス不足」の新聞記事がきっかけとなり、それ以来、社会貢献活動の一環として毎年継続して県内各自治体・団体へ寄贈を行っています。平成2年から24年で延べ852台を寄贈していて、昨年度で沖縄県内の全市町村(41市町村)に寄贈を行っています。新城支社長は「今年度は県内23市町村および沖縄県立病院や保健所へ合計40台の寄贈を行う予定で、今後も継続して寄贈していく予定です」と意気込みを語りました。

大保ダムで6年目の植樹・育樹体験



2014ココア・コーラ「森に学ぼう」in大宜味村が11月22日、大保ダムで行われ、村内外から約150名が参加し、大宜味つばきの会とシークワサー産地振興協議会からのアドバイスを受けながら植樹・育樹体験を行いました。

今回は、台風の影響を受けたツバキ30本の植樹とシークワサーの枯れ枝の剪定の他、それぞれの木に肥料入れも行い、スコップと剪定バサミなどを使って環境づくりを体験しました。植樹・育樹体験の後はシークワサー収穫体験や大保ダム監査廊見学など各体験コーナーでイベントを楽しんでいました。

陶藝玉城の玉城さん経済産業大臣表彰



平成26年度「伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰」が11月20日、佐賀県武雄市文化会館で開かれ、伝統工芸品産業の振興に功績があった玉城望さん(陶芸玉城)が表彰されました。今回の賞の中で玉城さんは、伝統的工芸品等を製造する産地の後継者であり、地域社会又は他産地との交流等により当該産地の振興に特に貢献したとして、全国から6名の内の1人として奨励賞を受賞しました。

日本赤十字社沖縄県支部大宜味村分区長への就任



12月4日、役場村長室にて日本赤十字社沖縄県支部副支部長比嘉幹郎さんから宮城村長への大宜味村分区長委嘱状交付が行われました。日本赤十字社は、日本赤十字社法に基づく特殊法人で、人道・博愛・奉仕の理念のもとに、国際救援活動をはじめ、国内的には災害救護、地域福祉活動さらに、家庭看護法等の普及や赤十字奉仕団体等ボランティアの育成などの諸事業を推進し、世界平和と人々の福祉向上のため、地域社会と密接に係わる活動をしています。平成27年2月4日には役場第2会議室(旧法務局)にて移動採血車による献血が実施されます。

2015オクマバレンタインキャンペーンwith田嘉里酒造



JALプライベートリゾートオクマでは、今年も昨年に引き続き地域との協業事業の一環として田嘉里酒造とのコラボレーションを展開し、2015年2月1日より2月14日までバレンタインキャンペーンを実施します。弊ホテルパティシエと田嘉里酒造スタッフが企画し、地元で愛飲されている泡盛まる田とトリュフチョコレートの組み合わせが、お酒のおつまみとしても十分楽しめる大人の味を醸し出しています。チョコレートは、「まる田」が練り込まれた生地をトリュフの形状に仕上げた「やんばるトリュフセット」と、さらに生チョコがセットになった「やんばるコラボセット」の2種類を数量限定で販売します。

おきなわみるくふぁーむ最優秀賞受賞



6次産業化の取り組みで開発された加工品の表彰式が沖縄総合事務局で11月28日に開催され、名護市でカフェ「おきなわみるくふぁーむ」を夫婦で営む堀之内さん(字塩屋)の商品2つが賞を受けました。受賞された商品は「完熟キラキラタンカンジャム」がすぐりむん賞(最優秀賞)、「完熟キラキラマンゴージャム」がいきとーん賞(優秀賞)となり、マンゴージャムは栽培から加工まで手作りの商品になっています。おきなわみるくふぁーむの堀之内さんは「2つの賞を取ることができて嬉しい。地元で作ったものを今後も活かしていきたい。今は大宜味村の農場で栽培しているコーヒーを一人でも多くの人に届ける為、活動中です」と意気込みを語っていました。